

自動車・同付属品製造業におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	13~14	トラックの荷台に乗って高所作業車のブーム内にグリスを入れていた時、足を滑らせて前のめりに転倒しトラックの角で胸を打った。	52	1~9
3	12~13	本社工場より取引先に製品を輸送のため、2tトラックで走行中、パレットカバーが風であおられ外れそうになったため、駐車場に止めてトラックの後方左側タイヤを踏み台として乗り、荷台のカバーを直そうとしたところ、足を滑らせ落下し右足の下腿骨を骨折した。	55	50~99
4	14~15	取引先の工場前にて3tトラックから金型の荷卸し作業を行っていた。運転手が荷卸し後バックを始めた際に、被災者はしゃがんで製品の検品をしていた。運転手は被災者が死角になっていた為気付かずバックをし、左後輪で被災者を巻き込んだ。	34	300~499
9	11~12	製品の納品及び材料の引き取りのため出張作業中、トラックの荷台に材料を積み込む際に、材料の袋を引いたときに手がすべり、荷台から後方に転倒し、地面に体を打ち負傷した。	67	1~9
11	14~15	取引先会社の駐車場で積載車の運転席から降りる際、操作レバーに足が引っ掛かり地面に落下し、左手首を骨折した。	46	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html